

帝國大学校友建立の墓碑
昭和村ボランティアガイドの会

事務局長 島田 民夫

例外はあるが、墓碑はその時代その時代に建立されるものが多く、歴史的な面や文化財としても価値があると思われる。

この意味で、全国的にみても数が少ないであろう、大学校友建立の墓碑がある。

それは、椽久保・角田家の墓地に存在する。墓碑全体の高さは、約1メートル77センチである。この墓碑の表面は、三人の戒名が彫られている(写真)。



角田家墓碑

この三人の戒名の文字は大変美しく立派なもので、かなりの書家が書いたものと思われる。

帝國大学文科四學年
角田重三郎四男
故角田雄三

於京都病院歿
明治四十貳季三月四日
享年十八歳六ヶ月
大學校友建立

墓碑の左側面には次のとおり記されている。

帝國大學醫科一學年
故角田均吾
角田重三郎六男
豊太養子明治四十四年
四月廿三日歿
行年廿四歳九ヶ月
善 角田重三郎
后妻 俗称 せい

なお、当時の弔辞が残されている。紙面の都合上、抜粋で紹介したい。

◎東京帝國大學醫科葛東寮生(九名)代表弔辞

『我等寮生は、君を兄として助け合いながら學業に励む。昨年敬愛する君が病魔に襲われ有爲の才能を抱き死去、悲しく残念・・・』

◎京都帝國大学長文學博士松本文三郎弔辞

『博問思辨の力と師友切磋琢磨により進歩のみるべきもの有、一朝にして世を去る、才に富みて寿に奮む茲に蕪辞を具して哀悼を表す・・・』



地域包括支援センターだより

9月21日は『世界アルツハイマーデー』

認知症になっても安心して暮らせる社会の実現に向け、1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を『世界アルツハイマーデー』と制定しました。

また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、世界で認知症への理解や家族を支援する活動を行っています。



認知症は、誰でもかかる可能性のある身近な病気です。だからこそ、本人や家族だけでなく地域全体で助け合い、支え合っていくことが大切です。ぜひ、この機会に認知症について考えてみましょう。

お気軽にご相談ください！

◆昭和村地域包括支援センター(昭和村役場内)

☎24-5111(内線134・135)

認知症ケアパス「もの忘れが気になる方へ」

ご自分やご家族のもの忘れが気になったときや認知症になったときに相談できる窓口や症状の進行状況に応じて受けられる支援をまとめた冊子を配布中。

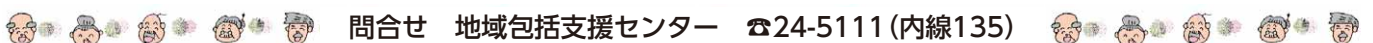
QRコード
をご利用
ください▶



◆群馬県認知症疾患医療センター内田病院

☎24-5359(沼田市久屋原町345-1)

「もの忘れが気になる、診察してほしい」。そんな時には、まずかかりつけ医に相談しましょう。状況によっては、認知症に関する鑑別診断や専門医療相談を行う『認知症疾患医療センター』と連携します。



問合せ 地域包括支援センター ☎24-5111(内線135)